

第6回総長選考・監察会議議事要旨

1. 開催日時：令和5年1月11日（水）14：00～15：20
2. 方法：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者：岩田、遠藤、国谷、小林、佐藤、板東、森田、山本、須田、山内、城山、森、杉山、河村 各委員
4. 陪席者：吉田監事、棚橋監事
5. 議題
 - 1 今年度の総長の職務実績評価手続きに関する振り返りについて
 - 2 総長選考・監察会議学内ワーキング・グループからの報告について
 - 3 経営協議会及び教育研究評議会との懇談の中止について
 - 4 総長選考・監察会議関係規則等の改正について
 - 5 令和5年度の総長選考・監察会議への申し送り事項について
 - 6 その他
6. 配布資料
 - 1 今年度の総長の職務実績評価関係資料
 - 2 2025年度までの総長選考・監察会議における課題検討行程表（案）
 - 3 総長選考・監察会議関係規則等の改正について（案）
 - 4 令和5年度の総長選考・監察会議への申し送り事項（素案）
 - 5 第5回総長選考・監察会議議事要旨（案）
 - 6 令和4年度総長選考・監察会議関係日程

参考資料

 - 1 東京大学総長選考・監察会議の運営に関する了解事項（令和4年3月16日総長選考会議承認）
 - 2 国際卓越研究大学の研究に及び研究成果の活用のための体制の強化の推進に関する基本的な方針（文部科学省）
 - 3 大学ファンドを通じた世界最高水準の研究大学の実現に向けて～国際卓越研究大学制度の概要～（文部科学省）

7. 議事

1 今年度の総長の職務実績評価手続きに関する振り返りについて

議題1に関し、議長から、配布資料1に基づいて説明があった。次いで、意見交換が行われ、出席委員から概ね以下の意見があった。

- 総長が提出する資料の公開・非公開を明確にするべきと思われる。
- 総長に求められるものは何か、それをどのように評価するのかについて各委員で共通の視点を持つことが重要である。総長の報告もその観点を踏まえて行っていただくことが望ましく、意見をまとめて総長に伝えることも含めタイムスケジュールを考慮する必要がある。
- 職務実績評価結果を同日の経営協議会に伝えるというスケジュールは改善する必要がある。
- 監事との懇談、総長との懇談の順序を検討する必要がある。
- 総長との懇談については、前年度に係る職務実績評価と当該年度の進捗状況の確認等必要に応じて目的を分けて開催するという事も考えられるのではないか。
- 学内構成員の意見を総長選考・監察会議として把握する仕組みというのにも必要ではないか。年度ごとに意見を聞く構成員の対象を絞るなど、メリハリをつけて運用していくといったような方向性も、考えられるのではないか。

2 総長選考・監察会議学内ワーキング・グループからの報告について

議題2に関し、議長代行から、配布資料2に基づいて報告があった。次いで、事務局から参考資料2に基づいて、国際卓越研究大学制度の動向について説明があった。次いで、報告の内容について質疑応答が行われ、今年度の学内ワーキング・グループの作業は完了したことが確認された。

3 経営協議会及び教育研究評議会との懇談の中止について

議題3に関し、議長から、参考資料1に基づいて説明があった。議長から、経営協議会及び教育研究評議会との懇談の中止について諮ったところ、出席委員から異議はなく、承認された。

4 総長選考・監察会議関係規則等の改正について

議題4に関し、事務局から、配布資料3に基づいて説明があった。議長から、配布資料3に掲げる方向性で改正を行うことを諮ったところ、出席委員から異議はなく、次回の総長選考・監察会議にて、改正条文を示すことが確認された。

5 令和5年度の総長選考・監察会議への申し送り事項について

議題5に関し、議長から、配布資料4に基づいて説明があった。議長から、議題1で提起された委員からの意見について、申し送り事項に反映させることを諮ったところ、出席委員から異議はなく、承認された。

6 その他

事務局から、今後の総長・選考監察会議関連の日程について説明があった。

以上